



尾山台小だより

12月号

学校教育目標【明るい子 考える子 たくましい子】

～確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童の育成～



〔尾山台小ホームページ〕<http://www.city.ageo.lg.jp/site/oyamadai-elementaryschool/>
または、「上尾市」ホームページ→「上尾市立幼小中学校」→「尾山台小学校」をクリック

今年を振り返ると・・・

校長 熊坂 由美子

学校の1年間は4月から3月になりますが、暦では1月から12月となります。やはり、毎年、12月が来ると、今年はどうな年だったかと私は振り返るのですが、皆さんは、いかがでしょうか。

思い返すと、今年の1月は、本校の教頭として勤務していましたが、4月からは、同じ学校で校長を務めることとなりました。こんな幸運が訪れるのだと、大変嬉しく思って春を迎えました。尾山台小で1年間教頭として働いているうちに、尾山台小の子供たちのこと、尾山台地区のこと、そして尾山台小学校が大好きになっていたからです。

今年は、様々な行事をコロナ禍前の形態に戻せるところは戻しながら、また、保護者の皆さんに公開しながら実施することができました。本当に良かったと思っております。子供たちは毎日、たくさん学んで、遊んで、時には友達とけんかすることもあります。みんなで協力して学校生活を送っています。行事では、その集大成として、頑張ってきた成果を発表しました。以前は当たり前だったことが、今ではその有り難さを感じています。

おや小応援団の皆さんには、今年も大変お世話になりました。防犯ボランティアさんには、暑い日も寒い日も、雨の中も、子供たちの登下校を見守っていただき、あいさつの声をかけていただいています。学校図書館ボランティアさんには、毎月、学校図書館の整備や掲示物の作成などをしていただき、綺麗な環境を保持していただいています。読み聞かせのボランティアさんも、今年の春から再開しました。低学年児童を中心に読み聞かせをしていただいています。また、新設した環境ボランティアさんには、校地内の花壇の手入れなどをしていただいています。親子除草の際も参加していただき、大変助かりました。そして、応援団長さんには、七夕の時期に笹を寄贈していただいたり、子供たちが出ることを禁止されているベランダの苔取りをしていただいたりもしました。こんなにも多くの方に愛されている尾山台小、おや小の子供たち、幸せなことです。ありがとうございます。

古くから「言霊（ことだま）」という言葉がありますが、言葉を発すると、その言葉には魂が宿り、良くも悪くも様々な効果が表れると言われてきました。相手に言ったつもりでも結局は自分に返って来るとも考えられていますので、発する言葉には注意が必要です。「ありがとう」「楽しい」「幸せ」「大丈夫」「絶対できる」など、言われて嬉しい言葉を発することで、運氣も上がり、健康にもなるようです。反対に、「無理」「面倒くさい」「嫌い」「もうダメだ」など、マイナスの言葉は避けたいものです。

今年1年を振り返り「いろいろあったし、失敗したこともあったけれど、これも自分の糧にしよう。今年も良い一年だった」と思って年を越せるよう、残り1か月を過ごしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、良いお年をお迎えください。